

行政書士としてどうありたいか

私が一番やりたい事は、会社設立等、会社法関連の分野です。社労士の資格取得も目指し、設立した会社の労務管理をも行いたいと思っています。行政書士を取得したそもそもの理由が、中小企業にありがちな、労働者が搾取されてばかりの体制を変えたいと思ったからです。

しかし、松田先生のお話を伺って、今までの自分の甘さに気付かされました。

圧倒的に覚悟が足りていない、正直に申しますと、先生に手取り足取り面倒を見てもらえるくらいの甘い気持ちです。今まで行政書士の業務の実情のリサーチすらしたことがありませんでした。

千人斬り！・スタッフブログ共に拝見させて頂き、そこに綴られている本物の行政書士の姿を見て、いかに本気か、命をかけているのかが伝わりました。目からウロコが落ちた思いです。私は志も無く何をしようとしていたのでしょうか…

ここ数日、悩みました。妻の反対を押し切り、半端な気持ちのまま、憧れだけの甘い気持ちで行政書士として踏み出すのか、それとも根本的な理念を考え直すのか…

そんなとき、ブログのコメント欄の志がどこにあるかという御言葉で、私の答えが出ました。

「先にお金が見えたら人も人ではなく、お金をくれる物にしか見えてこないのでは…」

この言葉が刺さりました。私は今までお金の事ばかり考えて、「世の中お金」お金があれば幸せになれると本気で思っていました。こんな私はなんて小さいのだろう、おのずと自分の限界を諭されました。お金ばかりでは先にあるもっと大きなものにはたどり着けないのですね…

先生に初めてお会いしたとき、自分を良く見せようと、質問に対し打算が働いていました。これからは打算を捨て、素直な心を持てるように気持ちを変える努力をします。うわべの言葉では無く、本当に心からの言葉でなければ、相手に伝わらないと気付いたからです。

書士会に問い合わせた登録申請書を取り寄せたりもしましたが、やはり私はもうしばらく、これからの在り方についてよく考え、より一層の精進を重ねた上で、行政書士を目指そうと思います。

それに気付かせてくれた先生にはとても感謝しています。先生のお話は大変参考になり、勉強になりました。本当にありがとうございました。